

第19回寛仁親王妃杯女子コスモスゲートボール大会を開催



平成29年9月28日、寛仁親王妃信子殿下に御臨席賜り、第19回寛仁親王妃杯女子コスモスゲートボール大会開催が催されました。

宮城県内と岩手県から30チーム、約200名が参加し競技を楽しみました。お成りになった信子妃殿下は、競技を御覧になり、参加者全員と写真撮影されました。暖かな雰囲気と笑顔や労いのお言葉によって、競技前の緊張していた心がほぐれていくようでした。

信子妃殿下は、霊安堂での御供花、入所されている方々との御懇談、居室や浴室、作品展示の御視察をなさいました。入所されている方お一人お一人に対するお優しいお声がけ、また、作品ひとつひとつを丁寧にご覧いただき、入所されている方はもちろんのこと、職員も胸が熱くなる思いであり、お成りいただいたことに感謝いたすばかりです。

寛仁親王妃杯女子コスモスゲートボール大会は今年で19回目となります。19年という年月の中でたくさんの女性がスポーツマンシップに則り正々堂々戦われてきたことでしょう。今年の開催はあいにく雨風の天候でしたが、ひとりとして体調を崩すことなく競技に臨んでいました。選手の皆さんのゲートボールに対する愛情と熱意を感じました。

私は今年初めてゲートボール大会に参加したのですが、自分が思ったところにボールが行かず予想以上の難しさを実感、そして、地域の先輩チームのチームワークの良さと作戦等を目の当たりに



次ページへ続く▶

目次	第19回寛仁親王妃杯女子コスモスゲートボール大会を開催	副総看護師長 岩田 美紀
	「笑い」で健康	臨床検査技師 佐藤恵美子
	行事・イベントの紹介	医療社会事業専門員 澤田 佑子

理念

入所者の人権を尊重し、
安心で安全な生活を提供します

基本方針

1. 快適な療養・生活環境を提供します
2. 安心で信頼される医療の充実に努めます
3. やさしい看護と介護を提供します
4. ハンセン病の正しい知識の啓発普及に努めます
5. 職員の教育・研修に努めます

入所者の権利

当園では、園の理念に基づき、入所者のみなさまの

- 人格を尊重される権利
- 良質な医療を受ける権利
- 十分な説明と情報を受ける権利
- 自己決定の権利
- プライバシーが保護される権利

を尊重します。

して、ゲートボールの奥深さを痛感しております。

そこで、すぐには上達できずとも歴史を知らなければと思い、私なりに調べたことを少し紹介させていただきます。

ゲートボールは、昭和22年、創始者鈴木栄治氏が、戦後の混乱の中で満足な遊び道具がなく、大人のまねをして遊んでいる子供たちのために手軽にできる健全な遊び道具を作ろうと考えたことが発端と言われ、ツルハシを見てゲートボールを閃き、試行錯誤を重ねゲートボールが誕生したそうです。北海道芽室町から誕生したゲートボールも70年が立ち、老若男女が親しみ楽しめるスポー

ツ、全国そして世界にはばたくスポーツとなりました。

当園に入所されている方々や職員チームも全国レベルの戦いを繰り広げていたと聞いております。そのようなスポーツ「ゲートボール」に参加できることに誇りを持ち、少しでも上達して作戦が考えられるような競技者になるよう努力したいと思います。

また、これからも、寛仁親王妃信子殿下に御臨席を賜り、東北の女性の強さ・美しさ・素晴らしさが感じられるような競技を御覧いただきたいと思います。

副総看護師長 岩田 美紀



「笑い」で健康！

「笑い」が心や体にいいということが様々な研究で明らかになりつつあり、最近では病気の予防や治療においても注目を浴びています。そんな「笑い」の効果についてご紹介します。

■免疫力をアップさせる効果

免疫機能は年齢とともに低下すると言われていたますが、笑いによる白血球の一種であるナチュラルキラー細胞（NK 細胞）の活性化が報告されています。NK 細胞は体内に侵入したウィルスや細菌、ガン細胞を破壊する働きを担う免疫細胞ですので、笑う事は免疫力アップにつながるというわけです。

■脳を活性化する効果

人間は笑う事で脳波の一種である「アルファ波」が増加します。アルファ波は脳をリラックスさせながらさらに脳機能を高める相乗効果を持ちます。落語を聞いて笑ったあとに脳波と脳血流を測定したところ、アルファ波が増加し、脳血流も上昇したという報告もあります。笑いは脳を元気にしてくれる働きがあるという事ですね。

■ストレス解消やプラス思考になる効果

笑いによって、脳内に「エンドルフィン」や「ドーパミン」といったホルモンが分泌され、ストレスが解消しプラス思考になることが分かっています。このエンドルフィンは、モルヒネの数倍にも相当する

強い鎮静作用を持つといわれています。実際に鎮痛薬を手放せないほどの疾患を抱えた人でも、落語やバラエティ番組を見て1時間ほど笑った後には、体の痛みがやわらいで楽になったという報告もあります。ドーパミンはやる気やプラス思考を高めてくれるホルモンです。ドーパミンが多量に分泌されると、ストレスホルモンである「コルチゾール」の分泌が抑えられ、ストレスや鬱っぽさから開放されます。

笑顔には様々な効果がありますが、今回はその中の一部をご紹介しました。場所や時間を気にすることなく、お金もかからないので本当におすすめです。さっそく今から楽しいことを考え、大笑いしてみませんか？

臨床検査技師 佐藤 恵美子



第19回夏祭り・花火大会を開催しました

平成29年7月22日、19回目となる夏祭りと花火大会を執り行いました。

入所者の皆様はくじ引きや輪投げ、15時頃には地域の皆様が来園されて会場の新生会館は長蛇の列となり、子供達は金魚すくいやバルーンドームも楽しまれていました。

当日は生憎の雨模様で、花火の打ち上げに向けて上がることを祈るばかりでしたが、開始時間の直前に降り止み、風で煙が流れて居室からも綺麗に見えたとのことでした。

元副園長の森芳正先生のご厚意により、現在まで継続されてきた本大会は、来年度で第20回を迎えます。





物故者慰霊祭と灯籠流し式を挙行了しました



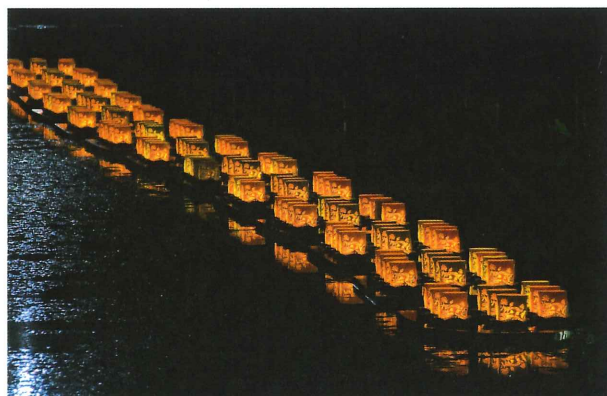
平成29年9月7日、物故者慰霊祭と灯籠流し式が行われました。

曹洞宗の僧侶様による法要を与り、834名の御冥福をお祈りいたしました。

物故者の鎮魂の意味を含め、千本桜の里を目指して行われている桜の植樹は、現在852本となっています。

慰霊祭終了後は霊安堂から福祉会館前に移動し、灯籠流し式を行いました。

総数150個の灯籠は、睦ヶ池の対岸まで舟で渡して浮かべられ、夜も穏やかな光が池を照らしていました。



敬老の集いを執り行いました

平成29年9月15日、昨年に引き続き、結成10周年の郷みん' S様をお招きして敬老の集いを開催しました。

本年は当園の開設以来初の100歳を迎えられた入所者の方がいらっしゃり、拍手喝采の中での開演で、約100名の来場者に活気で溢れていました。

宮城県の代表曲である「さんさ時雨」に始まり、新潟、福島、秋田、青森と続きます。





おもだかさんの伸びやかで力強い歌声、椿さんの技巧的な津軽三味線、最後は小林さんの演舞も加わっての「ソーラン節」で会場内が掛け声と共に一つになりました。

また、サプライズでおもだかさんの旦那様も郷土民謡を披露して下さいましたが、公演後にお話を伺うと、お父様も慰問で来園されたとのことでご縁を感じた次第です。

登米市立新田中学校による合唱演奏会が開催されました

平成 29 年 9 月 20 日、登米市立新田中学校より 21 名の生徒の皆さんに合唱を披露していただきました。

手作りのプログラムには「日本のこころの歌」という題目で、詩の朗読に始まり、丁寧な曲紹介の中で「どれも懐かしい歌だ」と参加者は手拍子をしながら口ずさんでおられました。

演奏後はハンセン病についての学習の時間を設け、DVDにて概要をご覧いただき、園内の見学もされました。

センター内の居室や浴室、食堂を通して入所者の方々の生活、そして資料館では歴史等、生徒さん一人ひとりの中で貴重な時間となれば幸いです。

医療社会事業専門員 澤 田 佑 子



職員募集

当園では、次のとおり職員を募集しております。採用を希望する方はお気軽にお問い合わせください。

1. 採用職種
 - ①看護師 ②看護助手
- 1) 身分
 - ①定員職員 ②期間業務職員
- 2) 採用予定期間及び採用人員
 - ①採用の日～ 5名
 - ②採用の日～ H30.3.31 6名
(年度更新)
- 3) 応募資格
 - ①看護師免許取得者 ②経験・資格不問(どなたでも応募できます。)
- 4) 勤務内容
 - ①看護業務(三交替制、早出・遅出有り)②介護業務(日勤、早出・遅出有り)
 - ①②1日あたり 7時間45分 週38時間45分勤務
- 5) 加入保険等
 - ①共済保険、厚生年金 ②協会けんぽ、厚生年金 に加入
 - ※②の職員は、1年経過後から共済保険に加入となります。
- 6) 応募方法

市販の履歴書に写真貼付、看護師は免許証(写)を郵送又は持参

豊かな自然に恵まれ、四季折々の行事、数々の訪問行事を行っておりますので、
入所者の皆さんと関わり合いながら楽しみながら当園で働いてみませんか。
看護・介護の研修体制も充実しておりますので、
初めての方も心配なく安心して働くことができます。
興味のある方は、当園のホームページに、看護課の方針、看護体制、研修計画、
処遇等を掲載しておりますので是非ご覧いただき、お気軽にお問い合わせください。
- 7) お問い合わせ、応募先

〒989-4692 宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢1
国立療養所東北新生園
TEL 0228-38-2121 FAX 0228-38-3765
E-mail sinseien-shomuhanchou@mhlw.go.jp



入所者数の推移

年度	入 所 者 数			退 所 者 数					平均入所者数
	再	新	計	軽快	死亡	転園	その他	計	
19			0		7			7	148.4
20			0		10			10	139.9
21			0		2			2	135.2
22			0		10			10	129.4
23			0		14			14	118.0
24			0		11			11	105.1
25			0		10			10	95.3
26			0		4			4	86.7
27			0	2	9			11	79.6
28			0		3			3	71.5



発行元 国立療養所東北新生園
National Sanatorium Tohokushinseien

発行責任者 国立療養所東北新生園
広報誌編集委員会

〒989-4692
宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢1番地
TEL 0228-38-2121 FAX 0228-38-3765
URL <http://www.nhds.go.jp/sinseien/>
E-mail sinseien-admin@mhlw.go.jp